

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

目 番 号	テ グ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			社内において差別を防ぐ教育や、社内に相談窓口等の体制を構築しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			ハラスメント防止に向けて講習会を行い、ルール・教育・相談体制を整備しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			残業、休日出勤の実態を把握し過度な長時間労働の防止に取り組んでいます。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			現在外国人労働者の雇用はありません。 同一作業内で外国人労働者と共同作業を行う可能性がある場合差別等の行為を行わないよう周知、徹底します。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			安全で衛生的な労働環境づくりに取り組んでいます。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			年1回の健康診断を実施時に実施機関のメンタルヘルスを利用した健康指導を推奨・実施している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			【予定】 多様な人材に対して働きやすい環境の整備に取り組みます。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			資格取得、CPDS講習会等積極的に参加させるようにしている。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			職種にとらわれずに全員月給制、社会保険加入、年休の付与等平等な雇用体制を整えている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			働き方改革に伴い完全週休二日制を実施している。 有給休暇取得率50%を目標にし、労働時間短縮による生産性の向上を目指す。			3					8									
11	環 境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			事業所の廃棄物の削減と適切な処理に取り組んでいる。										11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			グループ会社のEA21を活用し、自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			グループ会社のEA21を活用し、自社のCO2排出量の削減に取り組んでいます							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			化学物質リスクアセスメントを実施し、有害化学物質の特徴や危険性・取り扱い方を教育している。			3.9			6.3				11.6	12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)		【予定】	豊かな自然を保護するために、個人ができる取り組みとしてMY行動宣言に取り組んでいます。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			事業者の視点で具体的に取り組んでいます。												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			事業所の水資源の利用効率の改善に取り組んでいます。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	エコアクション21の取得を目指します。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		【予定】	HP等で環境方針の開示をしています。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			弊社遊休地において太陽光発電システムを設置・運用しています。							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			リサイクル製品・グリーン製品を積極的に使用している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			汚職・贈収賄の禁止を社員に周知している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			不正競争行為の禁止を社員に周知し、常に正しい姿勢で社会活動を行うよう指導している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			特許侵害等が無いよう指導を行い、事象発生時には勉強会等を行い管理していく。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			個人情報の管理について社員・関係者に周知徹底している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			紛争鉱物の取り扱いの事実・実績・予定はありません。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について、勉強会・講習会を開催している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10							17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （果などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			一般建設業許可を取得。 製品・サービスの安全性を確保し、質の高い商品を 提供していきます。			3.9							12.4							
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			社内規定・社内検査体制を社内会議等で検討し構築 しています。								9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			環境に配慮した製品の提案・活用に取り組んでいる。						6				12	13	14	15				
32	社会 貢献・ 地域 貢献	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			企業価値を上げるために自社としての 「最重要テーマ」に位置づけ、取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			環境破壊がないよう、公衆災害がないよう取り組んでい る。				4				9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			アダプシステム等地域のボランティア活動に積極的 に取り組んでいます。				4							11			14	15		17
35	組織 体制	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			市内業者を優先的に利用しています。								8	9		11	12	13				
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 （必須）			経営理念及び経営目標を設定、毎月行われる各種社 内会議にてその実施状況及び効果を把握し、クラウド にて情報を共有できる体制を確立している。								8	9							17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本 （必須）			社内会議において業務に関連する法令において遵守 状況を報告・検討を行ない管理を行っている。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本 （必須）		【予定】	女性部の設立、若手技術者の雇用・育成を 優先課題とし、組織体制の礎とし整備を行う。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼ す影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			適宜住民の皆様並びに利害関係者皆様等の要望等 をお聞きし、自社活動に反映している。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）		【予定】	コンサルタントやグループ会社のISO45001を有効活用 しリスクマネジメントを行っていきます。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組ん でいます	チャレンジ （任意）			人権を尊重し、環境への配慮、地域社会貢献等、利 害関係者全員の利益となるよう、中長期的に社員教育 を実施しています。																16	
42	事業承継	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			具体的な行動指針を整備し、緊急時に事業を途切れ ず継続し、顧客の信頼を維持できる体制を確率してい ます。								9		11		13 13.1			16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			親族並びに従業員への事業承継の検討を行ない、業 種追加変更などにより対策を行っている								8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定